



### 生涯学習課

## 入館者100万人突破 庄原市総合体育館

庄原市総合体育館が5月31日、入館者100万人を突破しました。

100万人目となった竹本利典さん(西本町)には、滝口季彦市長から花束、辰川五朗教育長から記念品が贈られました。この日、健康福祉まつりへ孫と一緒に来たという竹本さんは「100万人目を告げられびっくりした。私自身この体育館の建設にも関わったのでうれしい。これから体育館でイベントがあるときは足を運びたい」と喜んでいました。

総合体育館は平成5年7月にオープンし、庄原市のスポーツの拠点として年間約6万1000人に利用されています。



竹本さん(中央)と孫の橋本航季くん(右)、眞季くん(左)

### 健康課 保健医療課

## 地域医療の充実に向け連携強化 庄原市の地域医療を考える会

地域医療の充実を図るため、庄原市医師会、庄原赤十字病院、庄原市の三者で「庄原市の地域医療を考える会」を設立しました。

ために私たち住民として、今、何ができるのか」について話しました。

6月21日に庄原グランドホテルで開かれた発会式では、設立趣意書の披露や、兵庫県の「西脇小児医療を守る会」の村井さおりさんによる記念講演が行われました。

村井さんは、市立西脇病院の小児科医が年々減り、入院医療が休止となった時から、母親たちが中心となって実践した「勉強会の開催」や「先生に感謝の気持ちを伝える取り組み」などの活動を紹介。「地域医療を守る



「庄原市の地域医療を考える会」発会式

### 健康課 保健医療課

## 健康チェックに行列 笑顔いっぱい！健康福祉まつり

毎年恒例となった「健康福祉まつり」を5月31日、庄原市保健センター！総合体育館周辺を主会場に開催し、約3000人の来場者でにぎわいました。

健康や福祉に対する意識を高めようと、市内で活躍する54団体が参加。元気いっぱい！のステージ発表や

展示、各種スポーツ大会などが行われました。肩こり・腰痛の原因といわれる骨盤のゆがみを整える体験コーナーや、血管年齢・骨密度測定などの健康チェックコーナーは、行列がでるほどの人気で、市民の皆さんは健康への意識を高めたり、生活習慣を見つめ直したりしていました。



骨盤のゆがみを整える無料体験コーナー



子どもたちに人気のピエロのステージ

### 工 商 観光課

## 観光公社設立へ準備室 感動！観光振興プロジェクト

市は、観光振興で地域経済の持続的な発展を目指すため、観光振興の専門組織「観光公社(仮称)」の設立に向け準備を進めます。

国のふるさと雇用再生特別交付金事業(10/10補助の3年事業)を活用し、全域的な観光事業の構築と、観光公社(仮称)の設立業務を庄原市観光協会連合会に委託。連合会では7月末までに職員5人を雇用し、設立準備室を設置します。

準備室では、①来年に予定している「さとやま体験博(仮称)」の企画と実施、②観光客・ツアー誘致のための観光宣伝活動、③各地域の観光協会と観光関連事業者



準備室が入る交流サロンラッキー

### 生涯学習課

## アスリートから直接指導 庄原市レベルアップスポーツ教室

庄原市レベルアップスポーツ教室を6月13日、上野総合公園陸上競技場で開催しました。

これは、トップアスリートなどを招き、スポーツ技術や指導力の向上、体を動かすことの楽しさを知ってもらうという企画しました。

昨年引き続き2回目となる陸上競技教室に、市内小中学生67人と陸上競技指導者2人が参加。元中国電力陸上競技部の内富恭則さんから指導者から陸上競技の基本動作などを学びました。

かきん(高野小5年)は「初めてスターティングブロックを使った。講師の先生がよく話をしてくれて楽しかった。来年も参加したい」と話していました。

本年度は10月にバレーボール教室、1月にスキー教室を実施する予定です。

### 治 興 課 自 振 興

## 地域づくりのヒントが見える 自治振興区活動報告集を発行

平成20年度の自治振興区活動をまとめた「自治振興関係事業活動報告集」を作成しました。

各自自治振興区が地域課題の解決や夢の実現に向けて取り組んだ事例を紹介するとともに、各種補助金の活用事例やシンポジウムの内容

など、これからの地域づくりを考える資料となる一冊です。

この報告集は、市ホームページのほか、市役所または各支所などでも閲覧できます。また、希望者には1部500円で販売しています。



A4版 40ページの報告集



真剣な表情で指導を受ける子どもたち